



TITLE:

新ダンロプ天文臺の進況その他 (皇太子御降誕奉祝)

AUTHOR(S):

CITATION:

新ダンロプ天文臺の進況その他 (皇太子御降誕奉祝). 天界 1933, 14(153): 90-90

ISSUE DATE:

1933-12-25

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/165468>

RIGHT:

狼 星＝燦々光生し角 臨風色更黄 楚辭遺響在 長矢射＝天狼 池田喜欣
 軍市星＝軍市十三星 天南燄＝環座 武器知満し場 万古不＝曾鎖 〃
 弧矢星＝引し弦持し満急 弧矢九星懸 ●也觀＝何物 由來狼在し天 〃
 野鷄星＝野鷄何報し曉 芒角有し時搖 軍市連環裡 一星空寂寥 〃

12. 神話 犬はオリオンに伴はれて居る獵犬である。マスク・ミュラはシリウスの現はれる季節は夏の盛りで犬が發狂するので、此の星を Dog Star といつた。

シリウスに就いて一つの笑話がある。私の親族によく肥えて居る婦人がある。ある時その家庭で、一夜天を仰いで星の話をして居たとき、『あの白く輝いて居る星は犬大座α星で、其の光輝は全天第一で、α星の固有名をシリウスと云ふのである』と説明したら、子供は母と天とを見較べてクスクスと笑つて止めない、何故か初めは了解されなかつたが、子供は「シリ」は尻、「ウス」を臼と普通の上から判斷して、母親のお尻は臼の如く大なるところから、尻臼＝Sirius と連想したものである。其の後同家を訪問したとき、甥や姪が伯父さん今夜はシリウスが見えますかとてニコニコして居た。

新ダンロブ天文臺の進況その他

目下、米大陸には二つ三つ大天文臺の計畫や建設が進行中であるが、其の一つである Dunlop 天文臺の近況を聞くに、此の天文臺はカナダのトロント大學のために、故 D. A. Dunlop 氏の記念として未亡人から寄附されたものであつて、場所はトロント市の北12マイルにある Richmond Hill 村の一角で、177エーカーの地をとり、設備は英國 Grubb-Parsons 會社製の口径188糎(74吋)の反射鏡を主とし、尙ほ R. K. Young 氏の作の徑48糎(19吋)反射鏡や、25糎の屈折機等を置く筈である。大鏡の材料は Corning 硝子會社製の特別(膨脹係数は普通のバイレキスより25%も少い) Pyrex 硝子(徑195糎、厚さ32糎)を去る六月21日に鑄造した。アンニリングが済み次第、去る九月頃英國へ送られた筈

因みに、米國 N. Y. 州 Corning 硝子會社は此の他にも、McDonald 天文臺のために徑200糎の Pyrex 硝子を、又、カリフォニヤの工業學院の天體物理天文臺のために徑500糎の Pyrex 硝子を作る筈である。